

## 2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

### [1]2012 シーズンのクラブの運営方針およびチーム体制と目標

司会者: 皆さま大変お待たせいたしました。それではただいまより「2012 大宮アルディージャサポーターズミーティング」を始めさせていただきます。本日は平日の夜にもかかわらず、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。本日の司会進行は大宮アルディージャ事業本部ファンサービス担当の菊地が行わせて頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。それでは、サポーターズミーティングを始める前に、本日のメンバーを紹介させていただきます。ステージへお願い致します。

司会者: 大宮アルディージャ代表取締役社長、鈴木茂。

鈴木社長: 皆様新年あけましておめでとうございます。今シーズンも宜しくお願い致します。

司会者: ゼネラルマネージャー、岡本武行。

岡本 GM: 皆さんこんばんは。今年も宜しくお願い致します。

司会者: 強化部長、古矢武士。

古矢強化部長: 古矢です。宜しくお願いします。

司会者: 取締役管理本部長、東山雄二。

東山管理本部長: 東山です。宜しくお願い致します。

司会者: 取締役事業本部長、久保田剛。

久保田事業本部長: 皆さんこんばんは。平素よりありがとうございます。今年も宜しくお願い致します。

司会者: 事業本部統括部長、高須久典。

高須統括部長: 高須です。本日は本当にありがとうございます。どうぞ宜しくお願い致します。

司会者: それでは、はじめに、社長の鈴木、およびゼネラルマネージャー岡本より、今シーズンのクラブ運営方針およびチーム体制、目標についてご説明させていただきます。それでは鈴木社長お願いします。

## 2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

鈴木社長: 皆さま、改めまして本日はお集まりいただきありがとうございます。それでは若干時間をいただきまして、私から今シーズンのクラブの考え方をお話させて頂きたいと思っております。中身についてはパワーポイントを用意してございますので、パワーポイントに沿って、補足説明なりをさせていただきます。申し訳ございませんが、座ってお話をさせて頂きたいと思っております。

去年の1月に“Ardija Vision 2020「未来を、ともに。」”というクラブビジョンを皆様に発表させていただきました。「地域の未来」から「クラブの未来」、「チームの未来」という3つの未来における10年間のビジョンを定めて、50年後100年後の礎にしようということで、去年からスタートしております。その2年目ということで、スクリーンにはテーマと書いてありますが、どういう考え方で2シーズン目やっていくんだという、その考え方が「人に優しいクラブ運営」です。もう少し言いますと、「人を、人間を大事にしたクラブ運営」をやっていきたくて考えております。これは今日お集まりいただいております、ファン・サポーターの皆様、メディア、私たちの選手、スタッフ、すべての皆様に喜んで頂けるような、そういう風な人に優しい、大事にしたクラブ運営をやっていきたくて考えております。

具体的に言いますと、皆様が勝ち負けに関わらず、NACK5 スタジアム大宮においていただいているわけですが、私たちのサービスで皆様に喜んで頂いているのか、あいさつはしっかりとできているのか、ご意見を頂いたときに回答はすぐお戻しできているのか、名前の呼び方や服装などそういう点も含めてしっかりと考えてやっていきたいと思っております。チームにおいても選手が本当に悩みなく大宮アルディージャのために一生懸命やれる環境が整っているのかという点についても、しっかり私どものほうで見極めてコミュニケーションをとってやっていく。それらの部分も含めて、「人に優しいクラブ運営」、「人間を大事にしたクラブ運営」というのを今年1年、ベースにしてやっていき、その考え方に沿って、「地域の未来」、「クラブの未来」、「チームの未来」について、私から説明させていただきたいと思っております。

まず「地域の未来」です。私たちは去年から区民感謝デーなどいろいろなことをやっておりますが、今年はさらにホームタウン活動の強化を図って行きたいと考えております。

特に今日、新体制発表記者会見でもお話しましたが、塚本泰史をアンバサダーとして契約いたします。23日、私と塚本泰史が直接話をして契約を結びました。年間365日のうち約100日間、いろんなクラブの活動を手伝って頂きます。彼の想いからすると、彼が患った病気は全国で発症するのが毎年100人から150人いるそうで、その方たちにしっかりと自分が頑張ればスポーツの出来る体に戻れる、頑張ればリハビリすれば戻れるんだよ、ということ、同じ病気で闘っている方たちに伝えたいという気持ちが強くあります。したがって私たちは、それは彼だけではなくて大宮アルディージャの中で、そういう病気の方であったとしてもなかったとしても、頑張れば夢がかなうということ、彼にアンバサダーとして活動していく中で伝えていってほしいという想いで契約させて頂きました。

彼は2月26日の東京マラソンに出場します。当然私たち大宮アルディージャとして、間違いなくサポートし、トレーナーも一緒に走るようにします。彼の想いは自分が入院した病院が東京マラソンのゴールのすぐそばです。自分が頑張れば、これだけ結果が出せるんだよということを、入院している方に見せたいという想いがある、東京マラソンに出ることを決めました。

ホームタウン活動の強化策の2つ目が、ビジターのサポーターも歓迎するという事です。昨年ベガルタ仙台のサポーターをお迎えしたときに町にベガルタ仙台の黄色い旗を掲げさせていただきました。今年についてはすべてのチームが大宮に来るときにホームタウンに、FC東京戦からフラッグを掲げようと計画しています。来ていただいてあ

## 2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

りがとうという気持ちをお伝えするために、そういう施策をやろうとしています。

続きまして、プレシーズンマッチを2月25日に予定していますが、その中でさいたま市北部のサッカー少年団の卒団式と入団式をやる予定でいます。卒団する方は今現在6年生、約400人いるのですが、その皆さんに「未来を、ともに。絆カード」というものをお渡しします。絆カードは20歳まではワンコインの500円でホームゴール裏で観戦いただけるものです。将来的にサッカーをやらなくなるかもしれませんが、NACK5 スタジアム大宮で卒団したという経験を忘れてもらいたくないのでそういう絆カードというものを皆さんにお渡ししようと思っています。

それとスタジアムのオレンジ化、町並みのオレンジ化もやっていこうと思っています。スタジアムのオレンジ化についてはもう公式サイトに載っていますが、シートレイアウトを少し変更いたしました。町並みのオレンジ化については、大宮銀座通りとクラブハウスが出来ます西区の町並みをオレンジ化していこうという取り組みをしていきます。そういうことでホームタウンの自治会様、商店街様とタイアップしていろいろな施策をやっていこうと考えております。こういうことの継続が、これから10年後、20年後、50年後も大宮アルディージャを支えてくれるホームタウンになるのではないかと考えています。

「地域の未来」の2つ目がAS エルフェン狭山 FCとの業務提携ですが、もうすでにリリースはしてございますが、地域の中でしっかり活動しているという点では大宮アルディージャも AS エルフェン狭山さんも同じです。AS エルフェン狭山さんの歴史は、皆さんホームページを見てもらえばわかりますが、約25年になります。女性のサッカーチームとして25年活躍しています。2010年からすでに業務提携を結んでいますが、今年それをさらに充実していき、女性のサッカーの振興、および大宮アルディージャのPRも埼玉県でやっていきたいということで業務提携をしっかりと結びました。新聞等では大宮アルディージャという名前が変わるのではないかと話もありますが、今の時点では名称を変えるかということについては決めていません。AS エルフェン狭山 FC は25年の歴史になります。私たち大宮アルディージャは、NTT 関東の時代も含めて43年の歴史がありますが、それぞれの歴史を大事にしながらか融合していこうということを考えてはならないと思っています。プロサッカークラブだからといってすぐにAS エルフェン狭山 FC を大宮アルディージャの名前に変えるということではダメだと思っています。当然そういうことは埼玉県内のサッカー水準向上、普及促進につながるのではと思っています。

次に「地域の未来」の3点目です。東日本大震災復興支援活動で去年は皆さまにお世話になっていろいろな活動をさせていただきました。今年についても引き続いて行っていく考えです。特に今年考えているのは、調理ができるスタジアムの常設売店で、青森、岩手、宮城、福島の食材を使っていただくことです。ご来場いただいたお客様、ファン・サポーターの皆さまがそこで食事をして頂くことが支援につながるという形でやって行きたいと思います。

これからの復興には、5年かかるか、10年かかるか、まだわかりません。震災直後と違って今後は余暇を楽しむということが必要であると思います。私たちのサッカーをテレビで観るのもいいですが、例えばDVDとか使わなくなったゲーム機や本だとか、こども、高齢の方の余暇を過ごすにあたって必要なもので、皆様の余暇を楽しめるようなものをできるだけ、皆様のご協力を得て被災地に送り続けたいと思っています。当然クラブとしても入場料収入の1%は出来るだけ現金としてお届けしていきたいと思っています。これも引き続いてやっていきたいと思っています。

次が「クラブの未来」です。1点目がISO14001の取得ということで、2008年からエコクラブということで皆さまからご協力を得てスタジアム等でいろいろやってございますが、あくまでもクラブだけの取り組みになっています。やはりプ

## 2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

ロサッカークラブであろうが一般の企業と同じように国際認証とった上でしっかり目標定めてやっていこうということで、「環境目標イレブン」という 11 個の目標定めています。スタジアム・オフィスでの電気の使用からホームタウン地域清掃、エコ啓発活動というものも含めて大項目が 6 つ、小項目で 11 個の目標を立てています。今資格、認証の取り組みをやっています。2 月の下旬か 3 月初めには ISO14001 を取れると思います。これについては、志木のクラブハウスも当然です。FC 深谷も対象にしています。今後クラブハウスが移りましたらそこも当然対象にして、言い忘れましたが、当然 NACK5 スタジアム大宮も試合当日は対象になります。

それ以外に ISO14001 以外に皆さまと去年ここでお約束しました特別倫理委員会もしっかり 3 ヶ月に 1 回、前年度はシーズン 4 回実施しております。今シーズンも引き続き特別倫理委員会やります。大宮アルディージャは、去年のシーズン前のキムヨンゴンの交通事故に始まり、レンタル移籍してブラジルにいましたドウドウが向こうで死亡事故を起こしたりしています。そういうこともございまして、倫理委員会もそうですし、交通事故防止の研修、あとは反社会的勢力の排除の研修も選手に対してやるつもりです。そういうことも含めてわたしたちが 2 度とああいふ事件を起こさないというコンプライアンスの強化を引き続き進めていくことにしています。それと皆さんご心配されておりますクラブライセンスへの対応についてもしっかりやっていこうと。特に経営的なこともあります。例えば屋根のあるスタジアムを使用しないさいだとかそういう話もあります。ただ屋根については(施設基準)B 等級になっていますのですぐという話しにはなりません。今私たちがやらなくてはならないクラブライセンスの対応については 2 つです。1 つはゴール。現在使用しているゴールは認められないということなので、しっかりと認められているゴールの枠にしてくださいとのことで言われています。2 つ目が固席で設計上は、1 万席ありますが、150 席くらい足りないのをそれを直しなさいといわれております。大きくこの 2 つです。クラブライセンス制度はご存知のとおり来シーズンから入ります。ゴールについては今シーズンから直しますが、席の増席については遅くとも来シーズンに間に合うように今進めています。もう少し言いますとゆくゆく 10 年後くらいにはスタジアムの収容可能人数を 3 万 5 千ぐらいのスタジアムを使用しないと、実は AFC から来そうな話もあります。それについて今後どうするかについては慎重に考えていかなくてはならないと思っています。経営面については赤字 3 年で参加資格がなくなるということになっていますが、赤字は出ていません。ですから 2013 年のクラブライセンス制度については問題ないかなと思っています。ただそれ以降の経営については身の丈にあった無駄な金を使わない経営をどれだけやっていくかという会社としての課題はあると思っています。

次が新クラブハウスの建設です。ここ(スライド)に書いてありますが 1 月 5 日に地鎮祭で着工しました。11 月末に完成予定で来年の 1 月から使用開始ということにしております。去年のサポーターズミーティングでは 6 月か 7 月頃には皆さんに(詳細を)オープンにしたいというお話していたのですが、土地がさいたま市役所の土地なものですから、私たちが借りられる云々も含めて議会の通過が、当初は 6 月の議会という予定だったのですが議会が 10 月に延びました。議会での議決の関係で、皆さまにお知らせするのが遅くなりましたが、(スライドを示しながら)こういう形で作ります。上の方が 1 階です。ファンゾーン、車椅子利用トイレ、一般利用トイレ、ショップ、左側のところが選手が着替えるところとか、トレーニングルーム、あとはランドリールーム、選手が汚れた練習着をその場で洗濯して、今までは外に出していたんですけど、この中で全部やっしまおうということにしております。ショップも設けます。で、これから左側の駐車場は選手などの駐車場なのですが、右側には一般の方にも使っていただける駐車場を用意いたします。これが 1 階です。2 階については地域コミュニティの機能を備えた形にしております。何かといいますと練習観覧スペースというのがあり、そこから皆さまにも観て頂けますし、地元の方にも観て頂けるようにしています。多

## 2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

目的会議室、開放スペース、黄色いところが食堂と書いてありますが、ここを抜いて通しにすると約 200 人の立食パーティーも出来ます。会議も出来ます。このエリアは元々地元に住んでいた方と、宅地造成しますので新しく住まわれる方がいます。大宮アルディージャを中心にして地域のコミュニケーションを図ってもらう、昔から住んでいる方と新しく住まれる方がここで、もう少しいうと公民館機能のような自治会の機能で使っていただこうと。当然会議をやって頂いてもいいですし、パーティーをやって頂いてもいいですし、ということで 厨房も用意してあります。ただこの厨房で料理して食べるのは選手だけです。ここで売るのは出来ないのので仮にパーティーでファン・サポーターの方がパーティーをやりたいという場合にはお使いいただいて結構なのですが、販売は致しません。したがって例えばファン・サポーターの方がシーズン前、シーズン中でも打ち合わせをやりたいというのであればここを使っただいても結構です。その管理につきましては、後援会事務局をここにおきますので後援会に管理をして頂くというふうに考えております。使用料については、無料でいいと思ったのですが、無料であると乱雑に使用されるという話があったので必要経費部分、維持メンテ部分については頂きたいと思います。3 階については右側が現在の高鼻の中央ビルディングの 4 階の機能をここに移します。それと仕切りがありますが、トップチームの強化スタッフもここに移します。

階段教室とありますけれども、選手分析したものなどを見せるというかたちです。ここでトップチームと強化スタッフが移ってくると、志木にはトップチームの機能がなくなります。トップチームはここで練習をしますし、志木にはアカデミーおよびナイター設備もありますので AS エルフェン狭山 FC さんがそこを使っただけでいいかと。こちらナイター設備はございませんのでトップチームのみの専用クラブにしたいと思います。

続きまして、皆さん 1 番関心があると思いますけれども、「チームの未来」についてです。私からは何点かで、詳細についてはこの後 GM から話をさせていただきます。なぜ鈴木淳監督を継続したかという話だけを私から話させて頂きます。鈴木淳監督は 2 年 8 ヶ月、1 年目は 9 試合目からで、フルで 3 シーズンやった訳ではありませんが、勝点を試合数で割ると勝点の取得率が出ます。過去、三浦俊也監督が 2 年、そのあとがロバート監督、佐久間監督、樋口監督、張監督のそれぞれ勝点の取得率を見ました。やはり鈴木淳さんが一番。残留を達成した時点で来年も任せようとなりました。確かに勝点は 50 を目指すとしていましたが 42 でした。でもその原因というのは強化スタッフもしっかり分析しています。今年そこを補強することによって今シーズンは予定通りの目標を鈴木淳監督は達成してくれるだろうということで、契約を継続させて頂きました。詳細については岡本 GM からお話をさせて頂きたいと思います。

岡本 GM: 私からは 2012 シーズンのチーム編成についてお話をさせて頂きます。まずシーズンのチーム目標としては勝点 50 を今年もチャレンジさせて頂きます。昨年「チームの未来」としてこのスライドを出させて頂きました。これについては今年も継続して行なっていこうと思っています。2011 年に勝点 50 以上となっておりますが、去年達成することが出来ませんでしたので、今年 2012 年も 50 点以上を目標として将来的には勝ち点 56 から 60 を取れる、上位定着、常にタイトル争いに絡むチームを作ればと考えております。次に昨年の成績を分析いたしました。チーム成績についてですが、10 勝 12 分 12 敗ということで 13 位になりました。その中の内容を分析すると、終盤に追いつかれる試合が多く、勝ちきれない試合が多かったということがわかると思います。失点 48 点中、後半で 35 点、特にホームで顕著にありました。やはり得点を取ってリードしても追いつかれてしまうということで、ある種勝負弱さというところが目立ったシーズンだったと思います。敗戦数は 18 チーム中 8 位、とあまり低くないのですが、勝利数が 18

## 2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

チーム中 13 位と、引き分け数が 12 ということで、浦和、清水と並んで 2 位ということで、やはり全体的に引き分けが多く勝ちきれない試合が多かったと分析しております。続きましてチーム戦術についてということで攻撃面についてお話をさせていただきます。鈴木監督のもと、攻撃的なサッカーへのチャレンジを掲げていましたが、得点は 1 試合平均 1.12 であり、一昨年の 1 試合平均 1.15 を下回っております。得点の内訳については FW21 点、MF15 点、DF2 点となっております。一昨年に比べて得点は減っていますが FW の得点 21 点、特に中盤の得点が昨年のシーズンは 4 点しかなかったのが 15 点と改善されています。ただし DF の得点では一昨年 15 点だったのが 2 点ということで、そこをもう少し増やしていくことがチームの勝利を増やすことに繋がると考えております。一昨年に比べてセットプレーでの得点が減少して一昨年 7 点から 3 点という形になっています。中盤の得点は一昨年に比べて増加していません。内容というところではシュート数は 1 試合平均 12.6 本であり、一昨年の平均 11.3 本を上回っています。これについては 18 チーム中 6 位ということで、このことから分かるのは相手よりもシュートを打つ機会が増えているということと、やはり攻撃している時間が増えているということが分かると思います。コーナーキックの数というところでも 1 試合平均 5.5 回だったのが一昨年の 1 試合平均 4.0 を大きく上回っています。これもやはり攻撃というところで多く時間を使うことによってコーナーキック数が増えたものと考えております。得点者の内訳というところではラファエルが 10 点、東が 8 点で、ディフェンスの選手が少ないということでここを改善して勝利に導けると考えております。

続きましてチーム戦術について守備面というところですが、守備については 1 試合平均 1.41 失点であり、一昨年の 1 試合平均 1.32 失点を上回っています。これも失点の数自体は一昨年よりも増えています。その原因としては、やはり先ほど言った攻撃的なサッカーをするということによってやはりバランス的に前がかりになるというところをつかれて失点が多くなったものだと考えております。これは得点した後、守備の時間帯でのしっかりとした統一した意識というのを改善すれば勝利に近づけると考えています。内容を分析しますと 1 試合当たりの平均被シュート数は 1 試合平均 13 本と一昨年 13 本と同数であります。ただし 1 試合当たりの反則数は 1 試合平均 14.2 回であり一昨年 17.9 回を下回っております。先ほどいった通り、ボールを持つ時間が長くなったことにより、相手に対するファールが少なくなったと感じております。第 10 節には新潟戦で勝利することは出来なかったのですが、ファール 0 試合というものを達成することが出来ました。ただこれも勝利に結びつかなければ、意味がないと思っておりますので攻守において主導権を握ったサッカーを続けてやっていければと思っております。1 試合当たりの警告数では一昨年は年間 64 枚であったのが昨年については 52 枚に減っており、18 チーム中 6 位ということでイエローカードの枚数も減ってきているのが現状です。失点の内訳ではクロスからの失点というところでサイドバックが空いたスペースを使われてサイドからクロスを入れられて失点するパターンが増えております。シーズン終盤には失点はだいぶ減ってきたのですが、まず攻撃とのバランスをうまくとって守備の面では改善していければと考えております。

今シーズンの目標勝点については先ほどお話しした通り、勝点 50 を目指していきます。チーム編成の考え方としては、まず一番初めに今シーズンの主力選手を中心としたチーム編成を考えました。残念ながら石原選手については移籍してしまいましたが、そのほか何名かの選手についても移籍する可能性がありましたが、一緒に戦ってくれることになりました。次に選手のタイプと年齢バランスを意識したチーム編成を行いました。ポイントとしては失点を減らすために空中戦、特にセットプレーでの失点を防ぐとか、セットプレーでの得点を増やすためにヘディングの強いセンターバックを獲得ということを考えました。次に更に攻撃的に行くためにやはりビルドアップに長けたサイドバックを獲得することを目指しました。3 つ目として外国籍選手枠の活用ということでヨンチョル選手、カルリーニョス選手を獲得してボランチで運動量、ドリブル突破というところでチームのアクセントとして考えました。最後に攻撃のバリエ

## 2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

ーションを増やすためにストライカーの獲得を目指しました。これについてはペナルティエリア内でポストプレーを得意とする長谷川選手、トップ下のポジションというところでは市川選手を復帰させることとしました。センターバックでは菊地選手、サイドバックでは下平選手、ということで合計 6 名の選手を補強することが出来ました。獲得出来た選手については今までいた選手と違ったタイプということで色んな部分でアクセントを付けられる選手だと思っております。あと最終的に新卒選手については残念ながら獲得することが出来ませんでした。何名かの選手をピックアップしたのですが断られる選手もいて、獲得に至らない選手もありました。最初に「チームの未来」というところで育成と移籍選手のバランスを取るというところがあるのですが、今私としてはチームのバランスを取るということでは年齢バランスです。今主力の選手が 28 歳以上の選手が半分以上を占めています。中堅どころの選手がなかなか出場する機会がなかったのですが昨年来、青木選手であったり、渡部選手であったり、東選手であったり、ヨンゴン選手であったり、若い選手が主力クラスに入ってくるようになりました。将来的には同数の数にしたいと思っておりますが、まずはチーム内の年齢バランスを拮抗にしていくことが必要ではないかと考えてこのような結果になりました。

今育成のほうではユース、ジュニアユース、ジュニアに非常に活躍してもらっています。われわれが 3 世代のアカデミーチームを立ち上げてこれで 5 年が経ちます。ジュニア 1 期生の選手が今、高校 2 年生になっております。そういった部分で選手たちがやはりプロになれるように指導すると共に、その選手たちがプロに上がってきたときにやはりバランスを、育成からどんどん選手を上げていく形が取れるようなチーム編成を作っていければと思っております。

皆さんには昨年目標を達成出来ず、ホームゲーム 2 勝しか出来ませんで、本当に申し訳なく思っております。今年こそは目標を達成し、皆さんと共に勝利をわかち合いたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

鈴木社長:プレシーズンマッチの話をさせていただきます。さいたま市主催のシティカップという話がずっと 12 月ごろまで実はありました。実施しないということでしたのでプレシーズンマッチをやろうということで鈴木淳監督より開幕 2~3 週間前に強いチームとやりたいという話がありました。実は FC 東京とやる予定でいました。でも開幕戦がどこになるのかと思っておりましたら、FC 東京になりそうだと、そういう情報が入りまして断念いたしました。そんな中で岡田さんが行っている杭州绿城、中国スーパーリーグのチームが是非試合をやりたいと。もうひとつは先ほど言いましたとおり、小学生のお子様、少年団のお子様に、それに卒団、入団式が終わったあと、親御さんも一緒に良い試合が見たいというお話もありました。お子さんたちの心に残るような試合をしてあげたい、それが先ほどいった絆カードということで 20 歳まで心に残ってくれればいい、そのためには、やはり練習試合というよりもできるだけ公式戦がいいだろうということでクラブとしての判断でプレシーズンマッチということで有料にさせていただきました。今テレビ中継もどうするかという話になっております。どうなるかも分かりませんがそういうことが小さいお子さんの心に残るということで先ほど言った「人に優しい」「人間を大事にしたい」というところに繋がる思い、こういう話をさせていただきました。是非ですね、14 時キックオフですので、是非来て頂きたいと思えます。以上で今シーズンの取り組みの考え方の説明を終わらせて頂きます。ありがとうございました。